

放課後等デイサービス自己評価表（カノン今津）

2017年9月実施

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	② 職員の配置数は適切であるか	○			ほぼマンツーマンの体制で療育ができています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			階段、廊下に手すりの設置をしている。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			会議等で職員が活発に意見を述べ、進める事ができています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか		○		毎日保護者と振り返りの時間を持ち、保護者の意見を聞く体制は作っている。療育の内容が中心となるので、2018年度にはアンケートを実施予定
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開
適切な支援の提供	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	次年度、市内の児童の団体（西児連）の相互評価に参加予定
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		参加・不参加が職員により差があるので、今後はバランスを考え研修に参加する。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			フォーマル、インフォーマル含めて、児童の評価をして計画を作成している。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			利用の際にPEP-3
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員2人がペアとなり、週交替で療育をしている。一人の評価でなく2人の視点で評価し、日案を作成している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童や目標によって、教材・対応方法等をその都度検討し日案を作成している。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	年間を通じて同じ時間設定なので、設定は一定である。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画書については、全職員が参加し、複数の視点で方針を決め作成している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎回行っている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			×	必要に応じ、次回の日案作成までには情報の共有をしている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱ 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			自立支援と日常生活充実の為の活動、創作活動、コミュニケーション、社会性向上の内容に取り組んでいます。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も相応しい	○		担当職員が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○	親子通所の為、特に要していない。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	親子通所も為、事業所としては要していない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	相談支援事業所の主催する会議で集まり情報の共有をしているぐらいである。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	対象が小学生までなので該当児童がいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	必要に応じて連携しているが頻繁ではない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	事業所として実施していない。今の所今後も実施の予定はない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		加盟している西児連として代表を出しており、報告を受けたり、意見を出すことができる。法人からも参加しており、月に1回の報告がある。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回の療育後に時間を設定しており、そこで行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		必要に応じて行っている。児童への関わり方に対する助言や療育の場で具体的に伝える等。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		説明会や契約時に伝えている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時対応している。
	㉒	父母の会の活動を支援や保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	特に取り組んでいない。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか		○	活動内容は毎回報告、行事は実施していない。連絡はすべて個別に対応している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○		
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子供への意思疎通に関して、わかりやすい声掛けや絵カード等を使用するなど配慮を行っている。書面での理解が難しい保護者へは直接話をする等の対応をしている。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	特に取り組んでいない。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	防犯マニュアルのみ整備していない。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回訓練を実施

④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待を防止する為、適切な支援を行なう研修を実施している。全職員が職員行動規範をチェックし、意識づけをしている。
④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			保護者に説明しているが、該当の児童はいない。
④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必要な情報は、利用時に記入してもらい、把握している。
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			